

(平成20年12月分)

部 門	市況の概要
野 菜	12月期の野菜の入荷状況は、葉菜類の多くが低温による生育遅れによって入荷減となり、根菜類では低温や日照不足により生育遅れが見られるなど不安定な入荷状況であった。また、果菜類では低温等で生育が遅れていたことから当月に入荷が集中し入荷増となったものの、一部品目においては未だ原油高の影響によって入荷減となるものもあり、野菜全体の入荷量としては前年同期を3%下回った。 価格は、入荷増となった果菜類、需要の低迷した土物類で単価安となり、入荷減となった葉菜類、根菜類は単価高となった。なかでも葉菜類は全国的な品薄感から高単価で推移し、野菜全体としては前年同期を8%上回った。 品目別には、長大根、かぶら、はくさい、ほうれんそう、レタス、ピーマン、ばれいしょが入荷減の単価高となり、なす、とまと、玉葱が入荷増の単価安となった。また、西洋にんじんは入荷減の単価前年並み、キャベツ、きゅうりは入荷前年並みの単価高となった。 根菜類は、入荷が3%減少し、価格は10%高となった。 葉菜類は、入荷が8%減少し、価格は20%高となった。 果菜類は、入荷が10%増加し、価格は4%安となった。 土物類は、入荷が前年並みで、価格は4%安となった。
果 実	12月期の果実の入荷状況は、りんご類、いちご類は豊作傾向で入荷増となったものの、主力のみかんが裏年のため、全体の入荷量としては前年同期を5%下回った。 価格は、りんごなどで下位等級の割合が高かったことに加え、不況から贈答需要が低迷したことにより、果実全体としては前年並みとなった。 品目別には、みかんが入荷減の単価高、ふじりんご、王林、いちごは入荷増の単価安となり、富有柿は入荷減の単価前年並みとなった。また、アールスメロンは入荷減の単価安となった。 柑橘類は、入荷が11%減少し、価格は12%高となった。 りんご類は、入荷が17%増加し、価格は18%安となった。 かき類は、入荷が14%減少し、価格は5%高となった。 いちご類は、入荷が6%増加し、価格は15%安となった。 メロン類は、入荷が前年並みで、価格は9%安となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長大根	徳島県，長崎県，千葉県を中心に，和歌山県，神奈川県からの入荷。各産地とも低温干ばつによって生育が遅れ，細物中心の入荷となったことから，入荷量は前年同期を４％下回った。 価格は，全国的な品薄感に加え，業務加工用の需要が高く，前年同期を１３％上回った。
かぶら	京都府を中心に，滋賀県からの入荷。播種期の豪雨と生育期の低温によって作柄が悪く，入荷量は前年同期を９％下回った。 価格は，入荷減に加えて加工需要も高く，前年同期を３５％上回った。
西洋人参	長崎県を中心に，愛知県，鳥取県，千葉県，北海道からの入荷。主力の長崎県で作付面積が減少したことから，入荷量は前年同期を５％下回った。 価格は，入荷減ながら，前年が単価高であったことにより，前年並みとなった。
【葉菜類】	
はくさい	茨城県を中心に，兵庫県，滋賀県，岡山県，和歌山県からの入荷。生育期の低温により各産地とも作柄が悪く，小玉傾向での入荷となったことから，入荷量は前年同期を７％下回った。 価格は，入荷減によって単価高で推移し，前年同期を２２％上回る結果となった。
キャベツ	愛知県を中心に，茨城県，滋賀県，兵庫県，大阪府からの入荷。生育期の低温干ばつにより各産地とも作柄が悪く，小玉傾向での入荷ではあったが，中央集散機能が発揮され，入荷量は前年並みとなった。 価格は，全国的な品薄状態から集中した需要があり，前年同期を４７％上回った。
ほうれんそう	京都府，徳島県を中心に，茨城県，鳥取県，滋賀県からの入荷。主力の京都府，徳島県ともに豪雨や低温によって作柄が悪く，入荷量は前年同期を１６％下回った。 価格は，入荷減に量販店での特売需要が重なり，前年同期を２９％上回った。
レタス	兵庫県を中心に，長崎県，徳島県，茨城県，岡山県からの入荷。各産地とも定植期の降雨によって作業が進まず，結果的に作付面積が減少し，入荷量は前年同期を３０％下回った。 価格は，大幅な入荷減に加え，業務加工用の需要も高く，前年同期を６９％上回った。

【果菜類】 きゅうり	宮崎県を中心に、高知県、滋賀県、福岡県、長崎県からの入荷。 日照不足の影響から上旬は入荷減で推移したが、下旬にかけて入荷は回復し、全体の入荷量としては前年並みとなった。 価格は、上旬が入荷減の単価高であったことから、全体としては前年同月を8%上回った。
なす	高知県を中心に、岡山県、徳島県からの入荷。各産地とも11月の低温によって遅れていた入荷が集中し、入荷量は前年同期を20%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を11%下回った。
トマト	熊本県を中心に、滋賀県、福岡県、京都府、高知県からの入荷。 各産地とも低温で遅れていた入荷が集中し、小玉傾向ながら入荷量は前年同期を21%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を7%下回った。
ピーマン	宮崎県を中心に、高知県、鹿児島県、沖縄からの入荷。宮崎県では日照不足による着花不良から作柄は悪く、全体の入荷量としては前年同期を19%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を34%上回る結果となった。
【土物類】 ばれいしょ (メーク含む)	北海道を中心に、長崎県からの入荷。両産地とも小玉傾向での入荷となり、入荷量は前年同期を4%下回った。 価格は、小玉傾向での入荷ながら、前年が大幅な単価安であったことにより、前年同期を6%上回った。
たまねぎ	北海道を中心に、兵庫県からの入荷。北海道からの潤沢な入荷に加え、兵庫県については前年同様に大玉傾向での入荷となり、入荷量は前年同期を6%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を4%下回った。
【その他野菜】 生しいたけ	徳島県を中心に、広島県、岡山県、和歌山県、石川県からの入荷。広島県での生産量増加に伴い、入荷量は前年同期を3%上回った。 価格は、上中旬は単価安で推移したが、下旬には年末需要により単価高となり、全体としては前年並みとなった。

主要品目（果実）	市況の概況
みかん	和歌山県を中心に，愛媛県，福岡県，大阪府からの入荷。 本年は裏年に当り，入荷量は前年同期を 1 0 % 下回った。 価格は，入荷減により前年同期を 1 3 % 上回った。
ふじ （サン含む）	青森県，長野県，岩手県を中心に，秋田県，山形県からの入荷。 各産地とも豊作で，入荷量は前年同期を 2 2 % 上回った。 価格は，入荷増に加え，雹害果等により下位等級の割合が多く， 前年同期を 1 5 % 下回った。
王林	青森県，岩手県を中心に，秋田県，山形県からの入荷。 各産地とも豊作で，小玉傾向での入荷ながら，入荷量は前年同期を 9 % 上回った。 価格は，入荷増に加え，単価の安い小玉傾向での入荷であったことから前年同期を 2 2 % 下回った。
富有柿	福岡県，奈良県，京都府を中心に，滋賀県，和歌山県からの入荷。 各産地とも着色不良や虫害によって商品化率が下がり，入荷量は前年同期を 2 0 % 下回った。 価格は，入荷減ながら下位等級の割合が多く，前年並みとなった。
いちご	福岡県，熊本県を中心に，佐賀県，長崎県，大分県からの入荷。 各産地とも上中旬に入荷が集中し，下旬には着色不良から入荷減となったものの，入荷量は前年同期を 6 % 上回った。 価格は，入荷増により前年同期を 1 5 % 下回った。
アールス	熊本県を中心に，静岡県，高知県，宮崎県からの入荷。 各産地とも天候不良による生育遅れが見られ，下旬には入荷が回復したものの，全体の入荷量としては前年同期を 3 % 下回った。 価格は，入荷減ながら，需要の低迷により前年同期を 8 % 下回った。